



広島研修



広島研修を終えて

十四山中学校 佐藤 巨

【戦争で失ったもの】

人は、人と共に生活しています。人とつながりがなければ、楽しい、よりよい生活を送ることはできません。

そんなつながりを奪ってしまうのが、戦争というものではないでしょうか。親、子ども、友達…人をあやめるといことは、その人の周りの人、その人に関わりがあった人の気持ち、暮らしを壊し、めちゃくちゃにしてしまうということにつながります。人をあやめしてしまうことにつながる戦争は、してはならないことだといえます。

【人が与えているもの】

広島研修を通して、一番考えさせられた、一番心に残ったことは、人は周りの人に対して、よい影響、悪い影響を与え、受け取りながら生きているということです。

資料館の展示で、人が人に与えているものが確かにあるんだ、と最も感じた展示があります。それは亡くなってしまった方の遺品と、その方の遺族からのメッセージの展示です。人は絶えず何かを与え、何かを受け取りながら生きているからこそ、その関係が突然絶えてしまうと、残されてしまった方は、気持ちが抑えきれなくなってしまう、ということが、とてもストレートに伝わってきました。こんな素晴らしい関係を途絶えさせる戦争というものはずべきではないと思いました。

【まとめ】

人が周りに与えているものは多く、それが長く続いていくことはとても素晴らしいことで、みんながそれを続けていくことがベストだと思います。全ての国の全ての人々が、そんな幸せを実現するために協力することで、世界の平和につながってほしいと思いました。協力の仕方として、最も簡単なものに「知る」ことがあると思います。知ることで、自分の考え、思いを持つことができるので、一度戦争について調べてみてはどうでしょうか。



平和をつくり、語り継ぐ

十四山中学校 前田 倫幸

【平和記念公園を訪れて】

戦後の復興当初、広島市民は亡くなってしまった人のことを思い出してしまうからと、原爆ドームを保存することを拒否したという話を聞いた。しかし、広島市民は、あえて保存することで、原爆の恐ろしさを後世に伝えるという選択をした。そして今、原爆の恐ろしさや危険性が後世に、そして世界中に伝わっていき、繰り返してはいけないという認識を残していけることをうれしく思う。

原爆死没者慰霊碑には、身元が分からなかった人々を示す白紙の1枚を含め、多くの死没者名簿が収められている。その碑文には、「安らかに眠ってください。過ちは繰返させぬから」とある。これは、単に一国、一民族の犠牲者のみに対してではなく、全人類の平和の礎として記っていて、原爆の犠牲者に対して、人類全員で反核の平和を誓う、と言っているものだと感じた。

平和の鐘の、国境のない世界地図からは、核兵器と戦争のない本当の平和共存世界を達成することを目指した、当時の人の平和への思いがすごく感じ取れた。

【平和記念資料館で見て、感じたこと】

平和記念資料館で、当時の人が描いた絵や、写真を見て感じたのは、体にひしひしと伝わる恐怖や痛み、そしてそれを描いた人の気持ちだ。当時のことが鮮明に伝わってくる。その絵からは、描いた人の怒りや悲しみ、後悔、憎しみが感じ取れる。写真からは、特に過ちを繰り返してはいけないという思いを感じる。

【感想】

僕は、この広島研修を通して、当時の人が感じた原爆の恐ろしさや「二度と過ちを繰り返してはいけない」「亡くなった人達の命を無駄にしてはいけない」という思いを強く感じた。平和記念公園や平和記念資料館を作った人達、そこに資料を残した人達、その他昔の多くの人達が築いた平和への礎を、次の世代の我々が残していくことが、いかに必要なことが大いに分かった。若者は未来を創るだけでなく、過去を語り継がねばならない。しかし、我々のその苦勞が、平和への長い道のりを進めていくための力となると、僕は思う。



白鳥小学校



子どもたちの健康で安全な学校生活を守りつつ、充実した教育活動を進められるよう努めています。

入学式



白鳥小での新しい学校生活に、みんな心を躍らせています！

始業式



始業式での担任発表の様子です。なつかしい先生、初めましての先生。どきどきの瞬間です。

対面式



対面式では、1年生は大きな声で「よろしくおねがいします。」と言えました。あいさつ名人ですね。

楽しい授業

たくさんの友達と一緒に、新しい一年が始まりました。異学年交流や体験的な学習にも取り組んでいきます。



2年生は起震車体験で、消防署の皆さんにお世話になり、「なまず号」に乗りました。



3年生は気持ちのいいお天気の中、みんなで歩いて校区探検に出かけました。



5年生は家庭科の授業が始まりました。お茶の入れ方の学習の様子です。

運動会

3年ぶりに全校児童一斉に行いました。チームで力を合わせる種目、一人でがんばる徒競走、みんな一生懸命できました。



はじける笑顔で仲間を応援してくれました。



スタートダッシュ！！みんなで作戦を練って挑んだ、紅白対抗の「棒＆綱引き」です。



6年生はよく下級生たちを引っ張ってくれました。素晴らしいリーダーたちでした。